


東村山市第4次地域福祉活動計画
 中間報告会（抜粋版）


ぼんたくんは見た！

東村山の
元気な
 活動




★第4次計画の期間と進め方★

 期間：平成24～29年度（6年間）

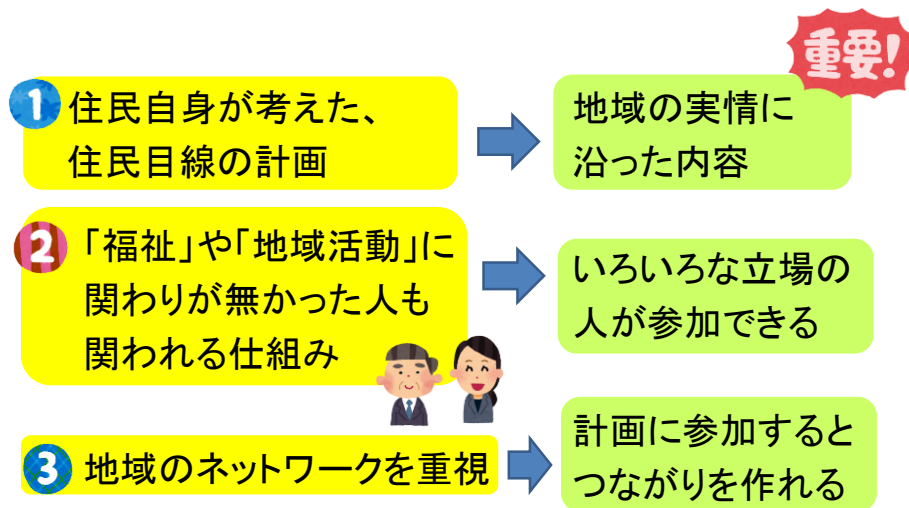
 進め方：初年度から、地域懇談会を各町で定着させる



 目標：課題発見～解決に向けた取り組みの実施に向けて、町毎で「地区活動計画」を作る。（平成29年度までに全町実施が目標）

ポイント

★第4次計画の特徴★



★市の「地域福祉計画」との関係★

- ◎策定: 東村山市
- ◎目的: 市民、地域団体、市が共に目指すべき地域福祉の施策と方向性を示す
- ◎内容: 地域福祉を進めるための基本目標や、子ども・障害・高齢・地域保健などの分野についての個別計画 など

地域福祉を進めるため 協力し合います

地域福祉計画
(行政計画)



地域福祉活動
計画
(住民活動計画)

★第4次計画の内容★

基本理念	基本目標	実施計画
わたしがつくる つながり支え合うまち みんなであつくる	1. ふみだそう お互い様のまちへ	➡ ①～③
	2. つくりだそう みんなの思いが伝わるまちへ	➡ ④～⑥
	3. つなごう 明日のために力を合わせるまちへ	➡ ⑦～⑨
	4. ひろげよう 優しいまなざしがあふれるまちへ	➡ ⑩～⑫
	5. そなえよう いざという時に助け合うまちへ	➡ ⑬、⑭

◆第4次地域福祉活動計画（第4次計画） 推進委員会の立ち上げ



～第3次計画まで

- 活動の進み具合や、目標に対する達成度の確認が不十分
- 福祉課題の掘り起こしが不十分
- 市民目線の評価に乏しい

計画はどこまで進んだの？
活動の成果は？



第4次計画の ここがポイント！



～第3次計画まで

- ・ 計画の進捗状況を定期的に確認
- ・ 地域の福祉課題を把握するための調査
- ・ 取り組みを評価・見直しして次の計画へつなげていく

第4次地域福祉活動計画推進委員会の
立ち上げ

改善

とっても
大事だよね！



◆推進委員会の役割とは？

- ①地区活動計画の進め方についての検討
- ②第4次計画に係る取り組みの進行状況を確認、成果の評価、見直し
- ③第4次計画を進めるための意見募集・調査・行政への提言
- ④第4次計画の進行状況に関するPR, 中間報告会の開催
- ⑤第4次計画の成果を評価した内容をまとめ、最終報告会を開催



◆推進委員会の進め方

その1

推進委員会(年4回)の開催

→定期的に進み具合や課題点を確認



平成24年度～現在まで
計14回実施

その2

計画を円滑に進めるための取り組み

→推進委員+事務局のプロジェクトチームによる検討

評価・進捗状況
の管理

計画の進み具合を把握、評価
方法について検討



勉強会やアンケートを実施しました

広 報

第4次計画への理解と参画を促す
ための広報・啓発について検討



福祉だよりの連載やフェイスブック
の立ち上げにつながりました

その3

各町の地域懇談会への参加

- ➡地域の福祉課題や活動情報に直接ふれる
- ➡市民に第4次計画をPRし、理解を深める



地域活動の進捗状況を把握しながら、計画の更なるPRに取り組みました



アンケートの実施、報告

今後の第4次計画運営・第5次計画策定に活かすため、平成27年3月～4月にアンケートを実施。

既に何か地域活動をしている団体

- ➡ 団体の活動内容等の情報を収集し、市内の実情把握に活かしたい

一般市民の方

- ➡ 第4次計画に関する質問を中心とし、計画への関心度・認知度を調べたい

一般市民向けアンケート ～集計から見た傾向～

まとめ

- 1 約半数(500名前後)の人は、第4次計画の内容・取り組みを知らない
- 2 基本目標4、5に関心のある人が多い
- 3 地域活動のしやすさ、サービスの使いやすさ、相談のしやすさを望む人が多い
- 4 「まちの自慢」に環境面、地域活動面を挙げる人が多い

住民活動団体アンケート ～集計から見た傾向～

- 1 地域イベントや情報交換を目的に、半数以上の団体が他団体や組織と連携している。 まとめ
- 2 必要とする支援は、「資金」「人材」「場所」が約60%。特に、人材の育成や増強を求める団体が多い。
- 3 計画の大体の内容を理解している団体は約40%。
- 4 社協について、80%以上が知っている。